

YMCA NEWS 金沢青年

No.33(2023年5月号)

発行所:金沢キリスト教青年会 〒920-0998 金沢市里見町 44-1 里見町タウンハイツ 201
<http://sophiruka.sakura.ne.jp/kanazawaymca/index.html>

2023年度金沢 YMCA 定期会員総会 “フルート演奏と懇談の夕べ”を開催

現在の金沢 YMCA における定期会員総会は、議事をする場ではなく、報告・懇談会的な位置づけがなされています。今回は、2023年5月20日(土)18:30~20:30、金沢市長土堀青少年交流センター3階の学習室3を会場にして、金沢 YMCA 理事の竹中丈晴氏(竹中歯科医院長)によるフルート演奏を鑑賞後、夕食を共にしてから、2023年度実施予定の事業について各事業委員会の報告と懇談のときを持ちました。出席者は7名という少人数でしたが、フルート演奏に心休まる思いがし、一曲終わるたびに感激・感謝の拍手が贈られたのです。10事業委員会のうち、具体的な計画があるものや、すでに実施がなされているものを優先させて、各事業委員会の委員長からこれまでの経緯や今後の方針について報告があり、これをふまえて成功裏に終わることができるよう話しあいました。

トップの報告は、9月3日(日)14:00~16:30に広島平和文化センター元理事長のステイブ・リーパー氏を講師に招いて開催する予定の、「核廃絶と世界平和」(仮称)をテーマとした集会についてでした。現在、プーチン政権に支配されたロシアによるウクライナへの軍事侵攻など、世界のあちこちで戦争や内乱が起きており、5月19日~21日にG7(The Group of Seven:カナダ、フランス、ドイツ、イタリア、日本、英国、米国で構成される政府間政治フォーラム)が広島で開催され、ウクライナのゼレンスキー大統領も出席して演説しただけに、時宜を得た金沢 YMCA 主催の集会となることでしょう。詳細が決まり次第、主としてインターネットを用いて開催案内をする予定です。多くの方々のご参集を期待しております。

(編集子)

フルートと私

金沢 YMCA 理事 竹中 丈晴

私は高校時代、平口さんと同じ若草教会の礼拝に出席し、「若樹会」という高校生の会のメンバーになっていました。その頃、神戸の牧師さんの息子さんで金沢大学理学部の学生だった神谷杖治さんという方がフルートで賛美演奏をしておられました。それが、フルートという楽器を目にし、その音を直接聴いた初めての経験でした。

フルートの音よりそのメカニカルな楽器がとても気に入って、いずれ機会があればフルート演奏に挑戦してみたいと思っていました。フルートという楽器は本来木管楽器に属し、他の木管楽器と同じ複雑な構造の楽器であり、キーというもので管体の穴をふさいで歌口から息を吹き込んで音を出します。楽器は安いものは洋銀製で数万円からありますが、プロが持つようなプラチナや金の楽器は高いもので1000万円はします。私の持っている楽器はムラマツの聴銀製SRモデルといい、銀製でも100万円以上しましたので意外と高価です。ただ楽器は高ければいいというもの



もなく、高いものはプロが使えば素晴らしい音が出るのですが、高価な楽器は素人が持っても吹き込まないと、まともな音が出ません。

私は50歳にして念願のフルートを習う機会があり、以来ずっとレッスンを受けてきました。私は始めるのがかなり遅かったのと、週一のレッスン日が唯一の練習日で、とても毎日練習することができませんでしたので、若い子みたいにほとんど上達しませんでした。そんなわけで私のレベルは年寄りの趣味程度で、人前で演奏するにはお恥ずかしいレベルです。せいぜい老後の時間つぶしにやろうと思って始めたフルートでしたが、我家

のクリスマスの家庭集会で一度みんなの前で演奏したことがきっかけで、たまに教会で賛美演奏をすることになり、その後、年に何回か機会を与えられています。しかし、これまで人前での演奏は何度やっても自分の思い通りの演奏ができたことは一度もありません。今回も下手な鉄砲も数打ちや当たるとの思いで無事演奏できたことにほっとしているところです。

演奏曲目は以下のとおりです。

1. 『讚美歌』298番「やすかれ わがこころよ」
フィンランドの作曲家シベリウスの交響詩「フィンランドディア」の中の美しいメロディーが独立して「フィンランド賛歌」という愛国歌になり帝政ロシアからの独立を願う人民に深く愛された。このメロディーを持った讚美歌は深い霊性を持った讚美歌となっています。また、ワイズソング「いざたて」の曲にも用いられています。
2. 「Panis Angelicus (天使のパン)」
フランスのオルガニストで作曲家のセザール・フランク作曲『荘厳ミサ曲』の一曲であり、カトリック教会においてイエスを讚美する 祈りの歌として歌われています。メロディーがとても美しいので、多くの歌手にも愛され、教会以外でも独唱曲として歌われています。
3. ヴィバルディ フルート協奏曲作品 10 第 5 番第 2 楽章 より

「ラルゴ」ヴィバルディは赤毛の司祭ともいわれ、「四季」で有名な作曲家です。この曲は音楽史上初めてのフルートのための協奏曲でもあり、全部で第 1 番から第 6 番まであり、特に 3 番の「ごしきひわ」が有名で有線放送の BGM でよく流れています。

4. 「ひまわり」

ヘンリー・マンシーニ作曲。1970 年制作映画『ひまわり』の主題曲であり、この映画はイタリアのソフィアローレン主演、1942 年から 1944 年のロシア戦線を背景とした物語で、ウクライナで撮影が行われ、ウクライナの国花のひまわりと、愛の悲劇が対比的にドラマチックに描かれていて、戦争で引き裂かれていく男女を通して、戦争のもたらす悲劇を静かに訴える名作です。

5. 「ガブリエルのオーボエ」

エンニオ・モリコーネ作曲。1986 年制作の映画「ミッション」の主題曲であり、この映画は 18 世紀の南米アルゼンチン奥地スペイン統治下のパラナ川上流域における、ガブリエル神父の「音楽」を共通の言葉としての伝道の物語です。最後は神父が十字架につけられ川に流され滝に落ちて殉教するのです。「ネッラ・ファンタジア」という曲名でいろいろな歌手によって歌われています。

第 2 回金沢 YMCA プログラミング講座を開催

— ACRC: Amazon Cyber Robotics Challenge —

金沢 YMCA 理事長 朝倉 秀之

2022 年 12 月 17 日(土)に第 1 回のプログラミング講座が金沢市長土堀青少年交流センターで行われました。その 3 ヶ月後の 2023 年 3 月 11 日(土)に第 2 回プログラミング講座が計画され、担当者、会場、日程などが検討されました。

第 2 回目のアンケートを取ってみると、希望者が 25 名ほどありました。希望者がいるなら中止はできないと思いました。開催するに当たって、再び YMCA 同盟の助けを請い、開催の運びとなったのです。保護者の方々の参加も 15 名ほどあり、一緒に講座を受けていただきました。

第 2 回目を開催するに当たり、日本 YMCA 同盟とのやりとりがいろいろありました。第 1 回目は大澤篤人さんが担当してくださり、第 1 回目の評判がよかったのです。そこで金沢 YMCA としては今回もぜひ金沢に出張して貰えないかと打診しましたが、ご都合がつかなかったので、オンラインによるスクリーンを使った講座になった次第です。第 1 回に参加した生徒もいましたが、初めての生徒もおり、新しい工夫がなされていました。

参加者がすべて北陸学院小学校の生徒だったこ

ともあり、第 1 回の金沢市長土堀青少年交流センターとは違って、落ち着いた雰囲気講座を受けることができました。

どの企画でもそうですが、開催するまでの準備が大変です。教室の机・椅子の用意、スクリーンの用意、電源、戸締まり、使う前より綺麗にして置くことなど。それには人手がいります。準備をしてくださる方がいないとできないのです。もちろん、その講座を担当する人がいないとできません。第 2 回は北陸学院小学校のご協力があったお陰で開催することができました。

第 1 回と同じように開会挨拶、アイスブレイク、導入プレゼンテーションがあり、ACRC を体験しました。途中でトラブルも生じましたが、プログラムは参加者があせらずに学ぶことができるように配慮がなされていました。細かいところをみていくためには、アドヴァイスする人が多いほどよいということが言えます。これからも個々にプログラミングを続けていくようにとの勧めがありました。参加者から楽しかったという意見も多くありました。保護者の方々の意見も好評でした。全体として楽しい時が持てたことを喜ばしく思います。

日本 YMCA 同盟の HP とニューズレターで見る ウクライナ戦災被害者支援活動

ロシアが2022年2月24日に始めた軍事侵攻に対して、日本 YMCA 同盟は3月2日、田口努 総主事の署名で「軍事侵攻に反対し、平和を求める人々と連帯します」と題する、以下のメッセージを発表した。

日本の YMCA は、第二次世界大戦における歴史的責任を認識し、『日本 YMCA 基本原則』において世界の人びとと共に平和の実現に努めることを誓っています。

今回の、ロシアによるウクライナ侵攻について、軍事侵攻に反対し、国際的な意見の相違があっても戦争が解決策になることはなく、対話と協力による外交的な解決策が見つかり、武力紛争が一刻も早く終結することを強く願います。

戦争は、日常生活を営む街を一瞬にして破壊し、両国の軍人が、命を奪い合い、ウクライナでは子どもを含めた多くの市民が人権と命の尊厳が奪われます。戦争が続けば、さらに多くの血が流れ、無辜の命が奪われます。その家族や友人、知人、そして私たちの悲しみの涙は、何万倍となります。今、このひと時も恐怖と不安の中にあるウクライナの人びとを想います。

ウクライナ YMCA は古くは第一次世界大戦下から戦争下で苦しむ若者のために活動を始め、その後も共産党組織支配下においては水面下で、独立後は長く民族紛争、貧困に苦しむ若者・子どものための活動をウクライナ全土 25 カ所で展開しています。ウクライナ YMCA、ロシア YMCA とともに、複雑な歴史を辿りながらヨーロッパ YMCA 同盟に加盟し、連なっています。平和と公正を求め、人権と民主主義にもとづいた対話による平和構築、若者の就業・メンタルヘルスについて若者自身が中心となって課題解決に望む Youth Led Solution に注力しています。

今回の侵攻直後から、ウクライナ YMCA では爆撃地から逃れる人々のための宿泊・食料・衣料品・衛生用品の提供を開始し、今後は子どもや若者の心理社会的支援を行っていきます。ウクライナ近隣諸国の YMCA では連携を取り、24 時間体制で避難民の受け入れ、生活支援が行われています。ロシア国内でも戦争反対のデモが行われていますが、現在の政治体制下では大きな力を持つことは難しい状況ですが、世界の YMCA では平和を希求するすべての人びとと連帯していきます。日本の YMCA では速やかに募金活動呼びかけ、これらの活動を支援してまいります。

世界、アジアにおいて人権や民主主義が脅かされることがないよう、無力でも平和を求め祈り、日頃からの平和への希求の意思として武力による平和は無いこと、戦争反対の声を掲げ、平和を求める人との連帯の意思や行動を示していければと願います。

また、ウクライナやロシアと関係の深い日本国内の人びと、YMCA でも留学生をはじめ、会員及びご家族が大きな影響を受ける可能性があります。関係の方々へのサポート等、必要な対応を行い、偏見や差別を生まないよう努めます。

(<https://www.ymcajapan.org/topics/20220302-3/>)

この声明は、第一段落を省略して、日本 YMCA 同盟(以下、同盟と略称)発行の News “THE YMCA” (以下、News と略称)2022 年 4 月号(No.815)に掲載された。以来、同盟の HP には「ウクライナ緊急支援 YMCA は平和を希求し、平和のために働く」と題して関連ニューズ一覧が掲載されるようになった。

(<https://www.ymcajapan.org/ukraine-ymca-stands-for-peace-ymca-works-for-peace/>)

News でも、YMCA ネットワークのサポートを受けてウクライナから日本へ避難して来られた方々の様子を紹介する記事が掲載されている。その最初の例は、2022 年 5 月号(No.816)に掲載されたもので、ウクライナ東南の都市クレメンチュクに住むテティアナ・ロバテンコさん(64 歳)の声を受け、ポーランド YMCA とヨーロッパ同盟、日本 YMCA 同盟とが連携してサポート、約 2 週間かけて計 1 万キロ移動、3 月 18 日に日本に迎えることができ、その後、ロバテンコさんからいただいた感謝のメッセージが紹介されている。

News2022 年 6 月号(No.817)では、在日大韓民国教会の金迅野(キム・シンヤ)牧師(横浜 YMCA 維持会員)が「あなたがたに平和があるように」(ヨハネによる福音書 20:26)と題し、「はかりしれない不安と恐怖のなかにいるウクライナの人びとの傍らに寄り添う活動を、YMCA がいち早く始めた」ことを聞いての所感を述べている。「イエスが十字架に架けられた後、自分たちも弾圧されることを恐れて、弟子たちが鍵をかけて部屋に閉じこもったこと」、「復活のイエスは、恐怖と不安の最も深い闇のただなかに現れて」標記の語りかけを何度もなされ、「聖霊を受けなさい」という言葉とともに「息」を吹きかけたこと、「聖霊 = Holy Spirit」とは人びとを再生の「うごき」へと促す力であること、イエスの復活とは「死体が蘇生した」のではなく、本来は「起こされる」という意味で「死や絶望を乗り越えて新しいいのちをとらえて生き直すこと」であり、その意味で「私たちの身の上にも日々起きうるのだ」ということが説かれている。

(https://www.ymcajapan.org/wp-content/uploads/2022/06/theYMCA_202206-web.pdf)

ヨーロッパ YMCA におけるウクライナ避難者支援活動についてはヨーロッパ YMCA 同盟のホアン・イグレスィアス総主事による報告が News2022 年 12 月号(No.822)に掲載されている。「軍事侵攻以来ヨーロッパ諸国には、約 660 万のウクライナ人が避難」、

「ポーランド、モルドバ、ルーマニアなど隣接諸国を中心に、現在 8 カ国約 220 カ所の YMCA が、宿泊場所や食料、医薬品、生活物資の提供をはじめ、新生活のオリエンテーションなど、各種の支援活動をしている。「長引く避難生活によって不安や不眠、無気力など抑うつ症状を抱える方が増えてきた」ことから「心のケアにも力を入れる」ようになり、「青少年のキャンプやスポーツ、ヨガ、レクリエーションといったウェルネスプログラムや、ウクライナ語で自由に話せるオンライン・スピーキングクラブ、ストレス対策講座など」を実施。ウクライナ国内では 17 カ所の YMCA が「戦火の中で暮らす方々の支援」、「家族を失った方への宿舍の提供、子どもたちのレクリエーション、障がい者のキャンプ、さらには留守宅のペットの世話」など、多方面にわたって活動。戦況の見通しが立たない中で、今後、「避難者への生活支援」、「募金活動」、「ロシアとベラルーシへの支援」、「中長期的な計画の策定」を続けていく計画とのことである。

(https://www.ymcajapan.org/wp-content/uploads/2022/12/theYMCA_202212-web.pdf)

同盟の横山由利亜 執行理事(YMCA ウクライナ避難者支援プロジェクト責任者)は News2023 年 3 月号 (No.824) に「軍事侵攻から一年 ウクライナ避難者と共に」と題して寄稿。戦争は「普通の人びとの『平

穏な生活』を突然“寸断”し、次に“別離”を迫る。「子どもたちは、自分の身に起こっていることを幼いながらも我慢よく受け止め、年齢よりずっと大人びた表情を見せたと思ったら、突然、子どもがえりやヒステリーを起こしたりする。「特に深刻なのは 10 代の多感な子どもたち」で、「殻に引きこもったり、極端な“愛国心”に走ったり、本来ならば学校に遊びに、スポーツにと満喫する成長期の子どもたち」なのに「子供らしくいることが奪われている」。ウクライナ人には「ロシア語で教育を受け家庭生活を送って来た人、近い親戚や友人がロシアにいる人たちが大勢いる。「戦争前から日本で暮らしていたウクライナ人やロシア人は助け合って」生きて来たのに、「いまでは戦争によって互いに敵・味方のレッテルを貼り、疑心暗鬼や不信感の連鎖を生みだして」いる。「YMCA は、全国の皆さんから寄せられた尊い募金によって、これまで 163 人の緊急来日避難を支援し、来日後は住居手配や保育園探しから日本語教育や就業など新生活を支援、これまでおよそ 900 人の避難者のサポートをするに至っています。」

(https://www.ymcajapan.org/wp-content/uploads/2023/03/theYMCA_202303-web.pdf)

文責: 金沢 YMCA 理事 平口哲夫

《インフォメーション》

【2023 年度金沢 YMCA 事業委員会】

講演会実行委員会: 委員長 山内ミハル、委員 藤井辰男・平口哲夫。事務所管理・有効利用委員会: 委員長 朝倉秀之、委員 山内ミハル・平口哲夫。プログラミング講座委員会: 委員長 朝倉秀之。ドローン講習会実行委員会: 委員長 朝倉秀之。新桜坂緑地(W坂)清掃委員会: 委員長 山内ミハル。募金活動委員会: 委員長 朝倉みゆき。青团連(金沢市青少年団体連合会) 関係委員会: 委員長 数澤輝夫。広報委員会: 委員長 平口哲夫、委員 朝倉秀之・山内ミハル。ひとり親家庭支援委員会: 委員長 山内ミハル。ユースリーダー育成委員会: 委員長 山内ミハル。各委員会の活動については、今後、ニューズレターや HP などで紹介する。

【金沢 YMCA の会員・会費・寄付】

会員: 本会の目的に賛同する人は誰でも入会資格があります。必要事項を記入した入会申込書(または①～⑥を記入した手紙やEメール)を金沢 YMCA 事務所または理事長宛に送付し、会費を納入していただければ、会員になることができます。①氏名、②生年月日、③住所、④電話番号(できれば携帯)、⑤できればEメールアドレス、⑥職業または学校名。
会費: 維持会員は年会費 12,000 円、通常会員は年会費 6,000 円、学生会員は年会費 2,000 円、少年会員(18 歳未満)は年会費 1,000 円です。

会費納入方法: 下記のいずれかの方法で。

- ・郵便振替 加入者名: 金沢 YMCA
口座番号: 00790-8-56852
 - ・銀行の指定口座に振り込む
北國銀行 香林坊支店 104 普通預金
口座番号: 428491
口座名義: 一般財団法人金沢基督教青年会
理事長 朝倉秀之
 - ・現金で支払う
- 寄付: 会費と同様の方法でお寄せください。

★編集後記★ YMCA が約束するブランド価値「みつかる、つながる、よくなっていく」が好循環するよう切に祈ります。次号では、日本 YMCA 同盟が取り組むミャンマー内戦被害者支援活動を紹介する予定。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

YMCA NEWS 金沢青年 No.33



編集委員: 朝倉秀之・山内ミハル
平口哲夫(編集長) sophiruka@yahoo.co.jp
発行者・発行日: 金沢 YMCA・2023年 5 月 31 日
発行所: 金沢 YMCA 事務所
〒920-0998 金沢市里見町 44-1-201
理事長: 朝倉秀之 asahide0927@gmail.com
090-6539-5173

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆